

2021. 7. 1 (木) 豊岡地域

会場:豊岡市民プラザ ほっとステージ

「豊岡市立小中学校における適正規模・
適正配置のあり方について」

答 申 説 明 会

豊岡市教育委員会



1

次 第

1. あいさつ
2. 答申の考え方
3. 再編の枠組(案)
4. 今後の進め方
5. 参考
6. 意見交換
7. アンケート

2

1. あいさつ

2. 答申の考え方

小中学校の**適正規模・適正配置**検討の必要性

- 近年の急激な少子化により・・・
 - ① 同級生がわずか数名
 - ② 複式学級を有する学校の増加等
教育課題が増大
- 2019年に開催した教育懇談会では、保護者から不安の声や、学校統合を望む意見が多くあげられた。



豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会を設置、7回に渡り審議。(2021年2月答申)

5

めざす教育

1. 国の学習指導要領
「**主体的・対話的で深い学び**」の実現
2. 市の教育プラン
コミュニケーション能力や**非認知能力**
(やり抜く力・自制心・協働性)の育成



これからの将来…少子化、グローバル化、AI技術の発達等

子どもたちが多様な世界を生きていくために
必要な能力を身につける必要がある

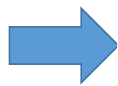
6

課題

1. 小規模校には小規模校の良さがあるが、複式学級が生じる程の極小規模校だと・・・

『小規模校の良さ』 < 『課題』

2. 現在行っている**小小連携の取組**は、事前調整や移動時間等の制約から、これ以上の拡充は難しい



学校規模の適正化 が必要

7

適正規模の考え方

市の実情を考え、

- ①望ましい学校規模（理想とする姿）と、
- ②最低限確保したい学校規模（下限の目安） を設ける

複式学級が生じない

	望ましい学校規模	最低限確保したい学校規模
小学校	12～18 学級 (クラス替えが可能)	6学級以上 (各学年1学級以上)
中学校	9～18 学級 (十分な教員が配置可能)	3学級以上 (各学年1学級以上)
		(小中学校とも、各学年20人程度以上)

8

適正配置の考え方

通学時間と旧市町ごとの**歴史的・社会的背景**に配慮した学校配置とする

- ア 通学時間 概ね1時間以内とする
※遠距離では、交通手段の確保が前提
- イ 小学校の再編は、原則、同一中学校区内とする
- ウ 中学校の再編は、原則、旧市町域内とする

旧市町域内に小・中とも1校は存続させる
(地域の実情により例外あり)

9

小中学校の適正規模・適正配置を実現するための学校再編

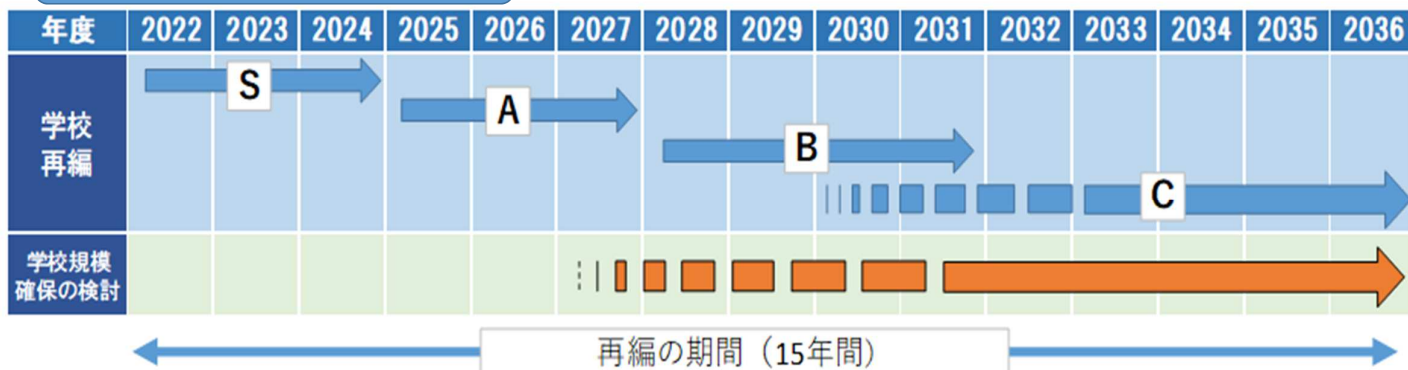
学校再編の手法の検討

検討内容		検討結果	
1	通学区域の見直し	×	● 地域コミュニティの分断に繋がる
2	小規模特認校の導入	×	● 効果は一時的・限定的であり、複式学級の解消にはつながらない ● 逆に近隣の小規模校では児童の流出につながる ● 子どもと地域のつながりが希薄になる
3	学校の統合	○	● 学校統合を基本として学校再編を進める ● 要件が満たされる場合には、 「施設一体型小中一貫校」 を検討

10

小中学校の適正規模・適正配置を実現するための学校再編

再編の期間と優先順位



S : 最優先	<ul style="list-style-type: none"> ・既に複式学級が生じている小学校 ・将来的に複式学級が生じると見込まれる小学校 ・小規模化による課題が生じている (生じる) 中学校
A : やや急ぐ	
B : 5～10年後	
C : 11～15年	

3. 再編の枠組(案)

豊岡地域の再編の枠組(案)

No.	検討対象校	枠組(案)	優先度
1	中筋小学校	中筋小 + 新田小 (中筋小 + 新田小 + 神美小も 視野に入れた検討)	B 5~10年後

【考え方】

- 中筋小学校は10年以内に複式学級が生じる見込み。
- 中筋小学校、新田小学校の再編により、ほとんどの学年でクラス替えが可能に。
(10年後の姿)
- 神美小学校を含めた検討も必要。

13

中筋小学校の学年別児童数見込

	2021年度	2027年度	2021年5月1日時点 (単位：人)	
1年生	10	17		
2年生	16	11		
3年生	13	8		
4年生	19	11		
5年生	14	12		(単位：人)
6年生	10	7	2030年度	2035年度
計	82	66	41	29

14

学校再編を進めるにあたっての審議会からの付帯意見

1. 児童生徒への配慮
2. 通学への配慮
3. 放課後児童クラブ利用者への配慮
4. 魅力ある学校づくり
5. 地域活動の拠点としての活用（学校の跡地利用）
6. その他
 - (1) 豊岡小学校の分散進学への解消
 - (2) ICTの活用

15

4. 今後の進め方

16

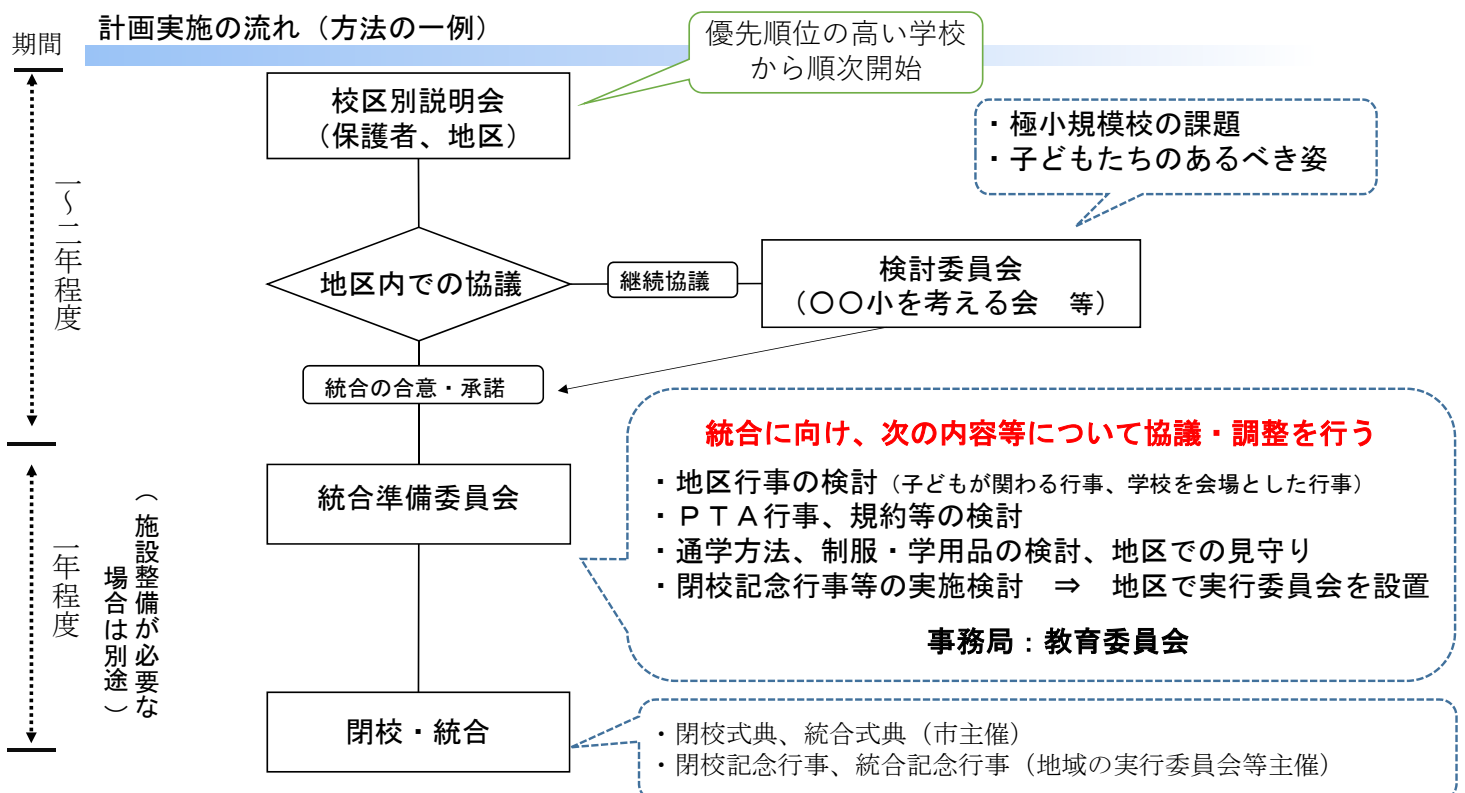
今後の進め方

スケジュール

※太文字は地域住民の意見を聞く場

時期	内容
2021年7月	答申内容の 地域説明会
2021年11月頃	計画(案)の 地域説明会、パブリックコメント
2021年12月末頃	計画策定・公表
2022年1月～	統合に向けた 校區別説明会 (順次)
2022年4月	計画スタート、 地域の検討組織等の設置調整
2023年4月	学校統合(最も早い場合)

17



5. 参 考

19

(参考)地域独自の動き

中竹野小学校 児童数 23人 (3年生児童は0名)
2020年9月に要望書が提出

竹野南小学校 児童数 23人
2021年2月に要望書が提出

2022年4月に竹野小学校に統合予定

※児童数は2021.5.1 時点

20

2021年4月
港東小学校と
港西小学校が統合

(参考)港小学校の様子

大休憩の時間には、みんな
で相談しあって今日の遊び
を決めています



複数のグループで教え合い、
相談し合える教育環境



(参考)港小学校 子どもアンケート

- 人数が増えて、初めてみんなとドッチボールができた。
遊びもできないことができるようになった。
- 趣味の合う友だちが増えた。
- 授業でみんなの案がたくさん出て、考えが広がった。
- 何かを決める時に、一人一人の意見があるから、
なかなか決まらなかった。

